

機関投資家様向け会社説明会

2017年12月4日

山口フィナンシャルグループ 代表取締役 吉村 猛



平成29年度中間期の業績概要

平成29年度中間決算の概要(グループ連結)

(億円)		H28年度 中間期	H29年度 中間期	前年 同期比	H29年度 通期予想
経常収益	1	846	816	▲ 29	1,550
コア業務粗利益	2	498	546	47	
うち資金利益	3	434	460	25	
うち役務取引等利益	4	77	91	14	
うちその他業務利益	5	▲ 23	▲ 21	1	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	399	344	▲ 54	
コア業務純益	7	99	201	101	
臨時損益	8	88	49	▲ 38	
うち株式等関係損益	9	73	56	▲ 16	
経常利益	10	251	272	20	480
親会社株主に帰属する中間純利益	11	169	187	18	325
与信関係費用(△)	12	▲ 27	▲ 10	17	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

減収増益

- ・経常収益は資金運用収益は増加したものの、国債等債券売却益や株式等売却益の減少により、816億円となり、前年同期比▲29億円。
- ・経常利益は272億円となり、前年同期比+20億円。
- ・親会社株主に帰属する中間純利益は187億円となり、前年同期比+18億円。

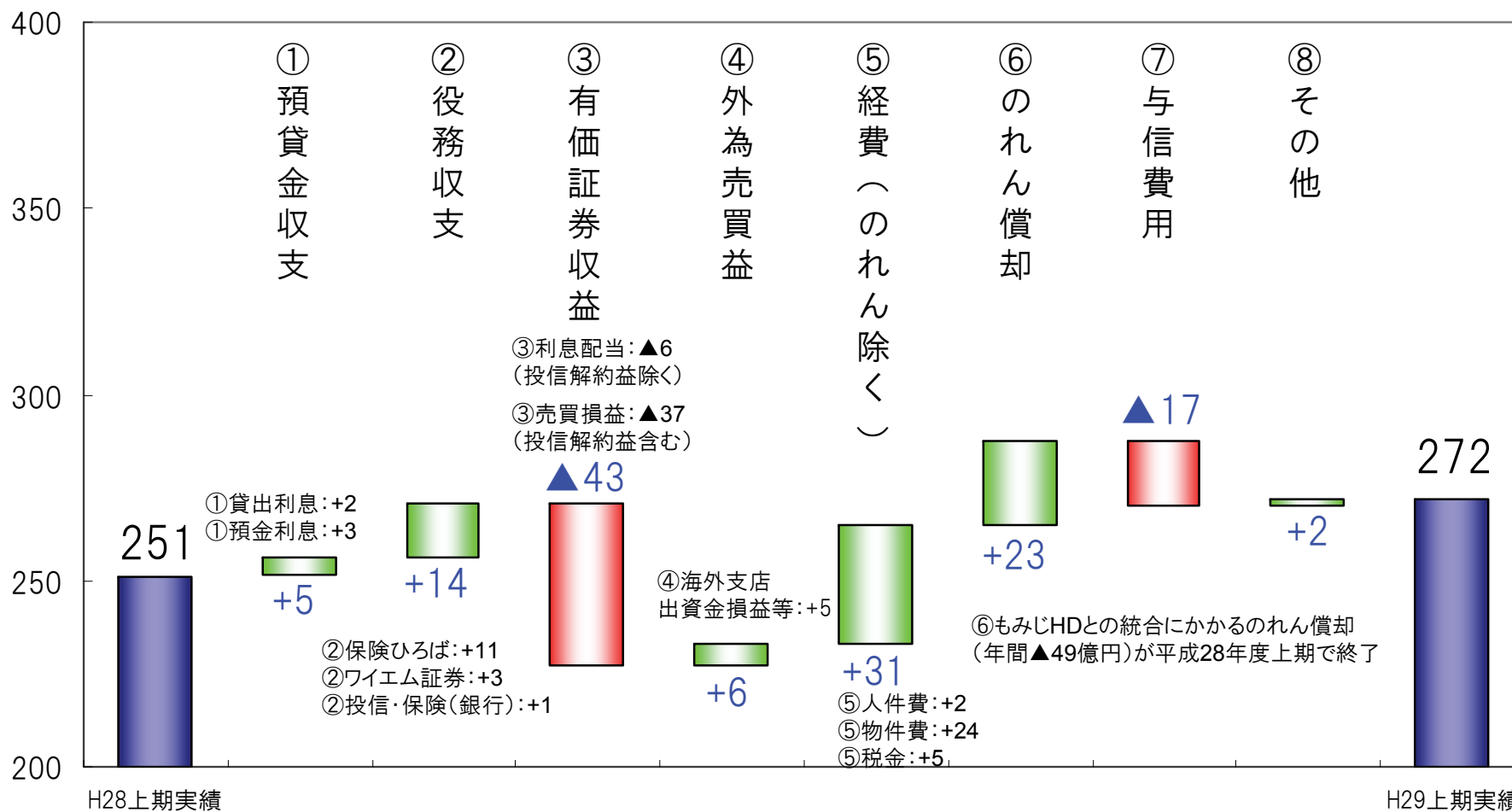
連単差

3行合算中間純利益	201億円
のれん償却費	△1億円
FG連結調整等	△11億円
YMFG連結中間純利益	187億円

連結経常利益 増減要因(平成28年度上期⇒平成29年度上期)

【FG連結経常利益】

(単位:億円)



平成29年度中間決算の概要(3行合算)

(億円)		H28年度 中間期	H29年度 中間期	前年 同期比	H29年度 通期予想
経常収益	1	751	708	▲ 43	1,360
コア業務粗利益	2	463	493	30	
うち資金利益	3	436	462	26	
うち役員取引等利益	4	57	61	3	
うちその他業務利益	5	▲ 31	▲ 30	0	
経費(△) (除く臨時処理分)	6	354	286	▲ 67	
コア業務純益	7	109	207	97	
臨時損益	8	68	37	▲ 31	
うち株式等関係損益	9	73	54	▲ 18	
経常利益	10	262	274	11	435
中間純利益	11	183	201	17	300
与信関係費用(△)	12	▲ 27	▲ 10	17	

※単位未満は切捨て表示。

決算概要

- ・経常利益は274億円となり、前年同期比+11億円。
- ・中間純利益は201億円となり、前年同期比+17億円。

資金利益

単位:億円

3行合算	H29/9	前年同期比
資金利益	462	26
預貸金収支	348	5
貸出金利息	372	1
預金利息	23	▲ 3
有価証券利息	121	24
投信解約益	53	29
その他	▲ 7	▲ 3

平成29年度中間決算の概要(山口銀行)

(億円)

		H28年度 中間期	H29年度 中間期	H29年度 通期見込	
				前年同期比	
経常収益	1	393	422	29	790
業務粗利益	2	299	285	▲ 13	
資金利益	3	235	252	17	
役務取引等利益	4	35	38	3	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	28 (58)	▲5 (21)	▲33 (▲36)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	168	138	▲ 29	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	130	147	16	
コア業務純益	9	72	125	52	
臨時損益	10	▲ 5	40	45	
うち株式等関係損益	11	4	49	45	
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	▲ 0	
うち貸倒引当金戻入益	13	5	1	▲ 3	
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0	
経常利益	15	125	187	62	280
特別損益	16	▲ 0	3	4	
税引前中間純利益	17	125	191	66	
中間純利益	18	86	137	50	195
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 4	▲ 1	3	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

増収増益

- ・経常収益は資金運用収益や株式等売却益の増加を主因とし、422億円となり、前年同期比+29億円。
- ・経常利益は187億円となり、前年同期比+62億円。
- ・中間純利益は137億円となり、前年同期比+50億円。

資金利益

単位:億円

山口銀行	H29/9	前年同期比
資金利益	252	17
預貸金収支	184	6
貸出金利息	199	4
預金利息	14	▲ 1
有価証券利息	72	12
投信解約益	28	18
その他	▲ 4	▲ 1

平成29年度中間決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		H28年度 中間期	H29年度 中間期	前年同期比	H29年度 通期見込
経常収益	1	308	224	▲ 84	430
業務粗利益	2	171	171	▲ 0	
資金利益	3	149	156	7	
役務取引等利益	4	19	19	0	
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	2 (5)	▲5 (▲0)	▲8 (▲5)	
経費(除く臨時処理分)(△)	6	138	107	▲ 30	
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	33	63	30	
コア業務純益	9	28	64	36	
臨時損益	10	81	0	▲ 80	
うち株式等関係損益	11	67	4	▲ 63	
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	0	
うち貸倒引当金戻入益	13	10	5	▲ 4	
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0	
経常利益	15	114	63	▲ 50	125
特別損益	16	▲ 0	1	1	
税引前中間純利益	17	113	65	▲ 48	
中間純利益	18	81	47	▲ 33	85
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 9	▲ 4	4	

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収減益

- ・経常収益は株式等売却益や国債等債券売却益の減少を主因とし、224億円となり、前年同期比▲84億円。
- ・経常利益は63億円となり、前年同期比▲50億円。
- ・中間純利益は47億円となり、前年同期比▲33億円。

資金利益

単位:億円

もみじ銀行	H29/9	前年同期比
資金利益	156	7
預貸金収支	112	▲ 3
貸出金利息	118	▲ 4
預金利息	5	▲ 1
有価証券利息	46	11
投信解約益	24	11
その他	▲ 2	▲ 1

平成29年度中間決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		H28年度 中間期	H29年度		H29年度 通期見込	
			中間期	前年同期比		
経常収益	1	78	72	▲ 6	140	
業務粗利益	2	55	57	2		
資金利益	3	52	53	1		
役務取引等利益	4	3	3	0		
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	0 (-)	0 (0)	0 (0)		
経費(除く臨時処理分)(△)	6	47	40	▲ 6		
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-		
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	8	17	8		
コア業務純益	9	8	17	8		
臨時損益	10	14	4	▲ 9		
うち株式等関係損益	11	1	0	▲ 0		
うち不良債権処理額(△)	12	▲ 0	0	0		
うち貸倒引当金戻入益	13	12	3	▲ 8		
うち償却債権取立益	14	-	-	-		
経常利益	15	22	22	▲ 0		30
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	0		
税引前中間純利益	17	22	22	▲ 0		
中間純利益	18	15	16	0		20
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 12	▲ 3	8		

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

減収増益(中間純利益ベース)

- ・経常収益は資金運用収益は増加したものの、貸倒引当金戻入益の減少により、72億円となり、前年同期比▲6億円。
- ・経常利益は22億円となり、前年同期比▲0億円。
- ・中間純利益は16億円となり、前年同期比+0億円。

資金利益

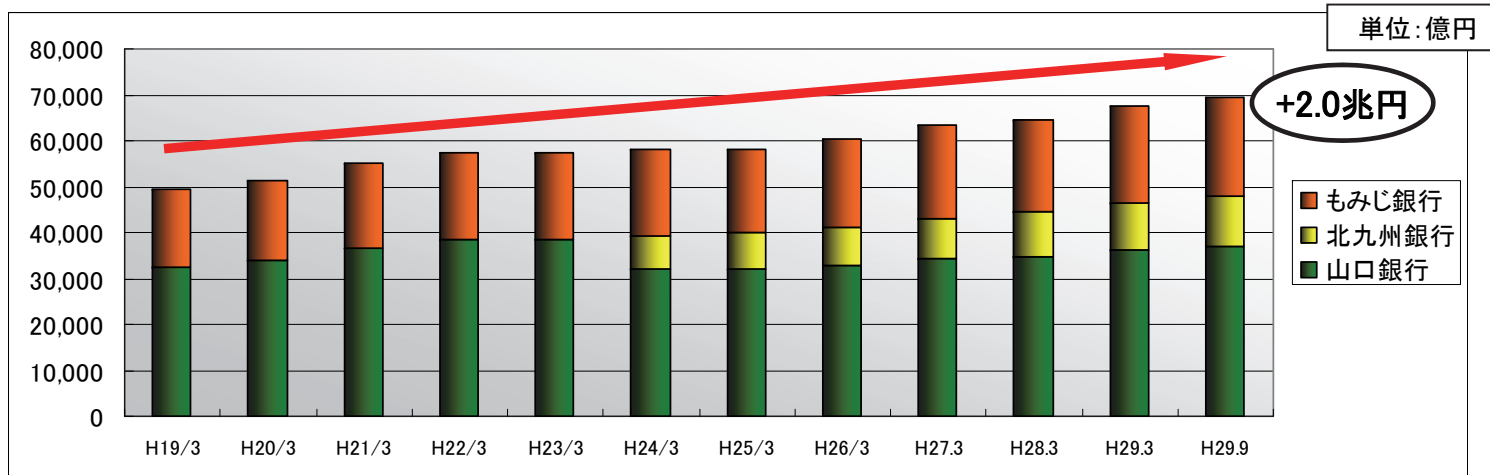
単位:億円

北九州銀行	H29/9	前年同期比
資金利益	53	1
預貸金収支	51	2
貸出金利息	54	1
預金利息	2	▲ 0
有価証券利息	2	0
投信解約益	-	-
その他	▲ 0	▲ 0

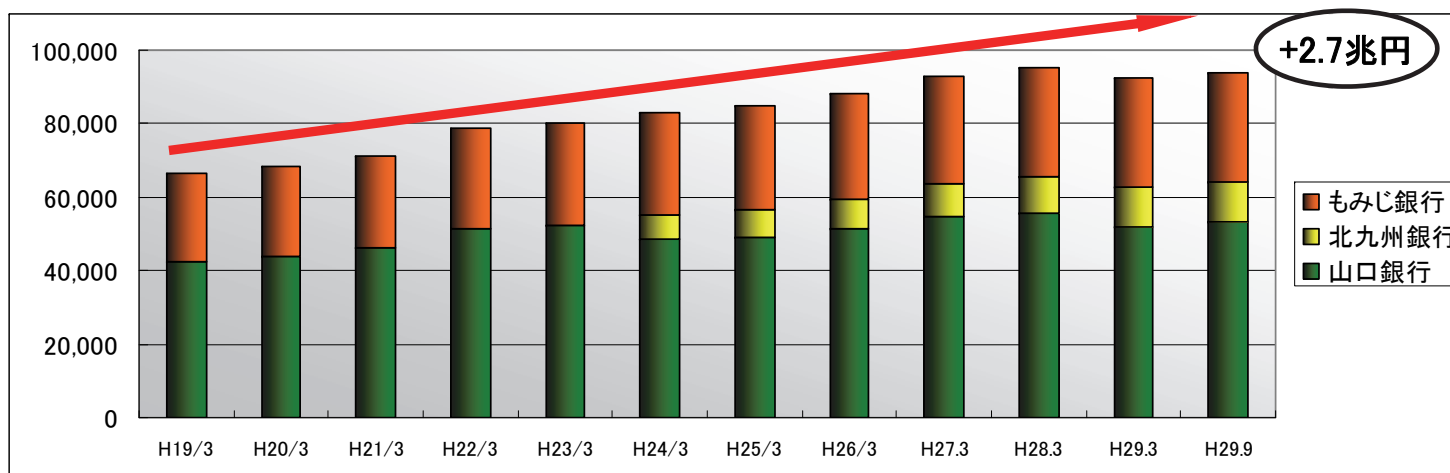
預貸金の状況

- ▶ 3行合算で、貸出金は平成29年3月比+1,798億円、預金は平成29年3月比+1,240億円。
- ▶ 設立11年で、貸出金は約2.0兆円、預金は約2.7兆円の増加。

貸出金 (末残)



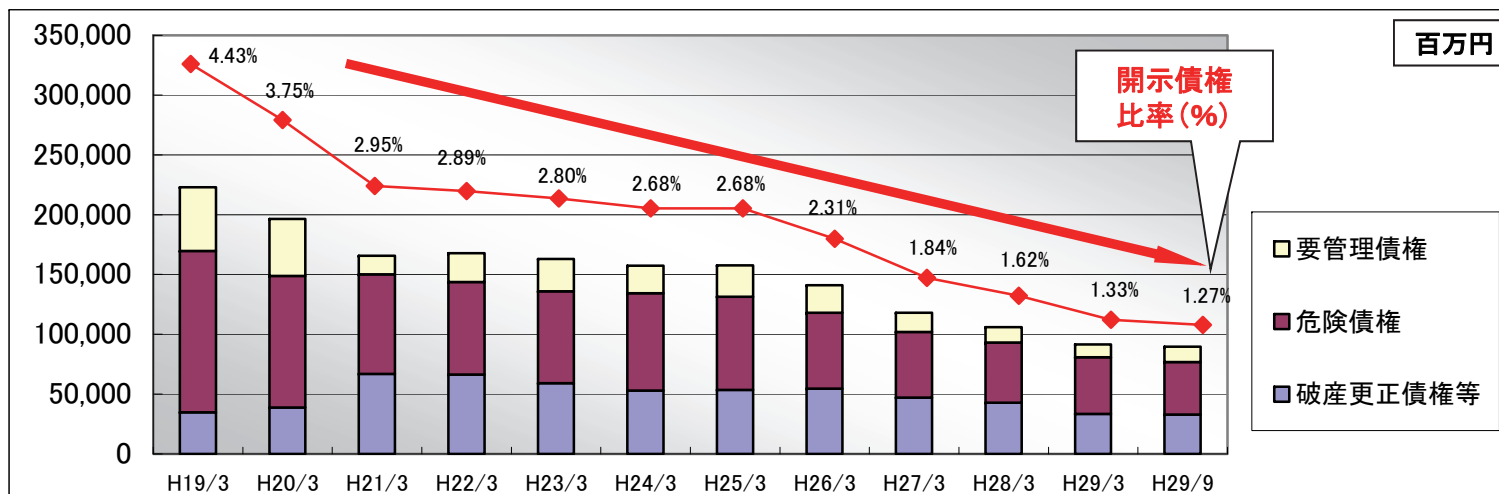
預金 (末残)



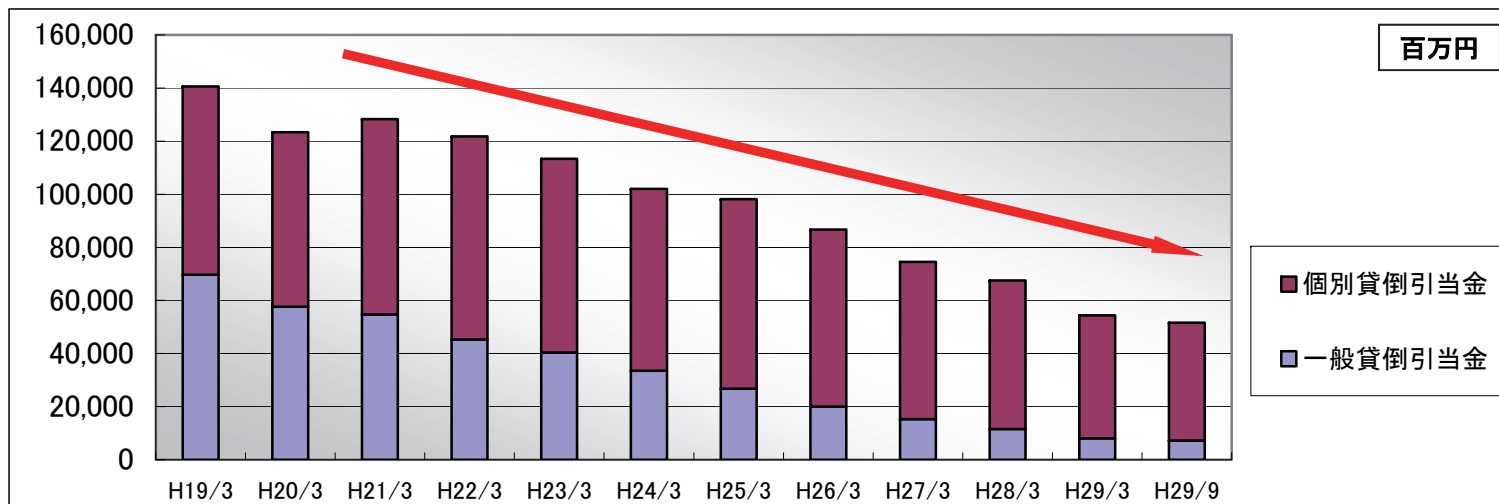
不良債権の状況

▶ 金融再生法開示債権残高は年次減少、平成29年9月期の同比率は1.27%と最低水準を更新。

金融再生法開示債権残高
(3行合算)



貸倒引当金の状況

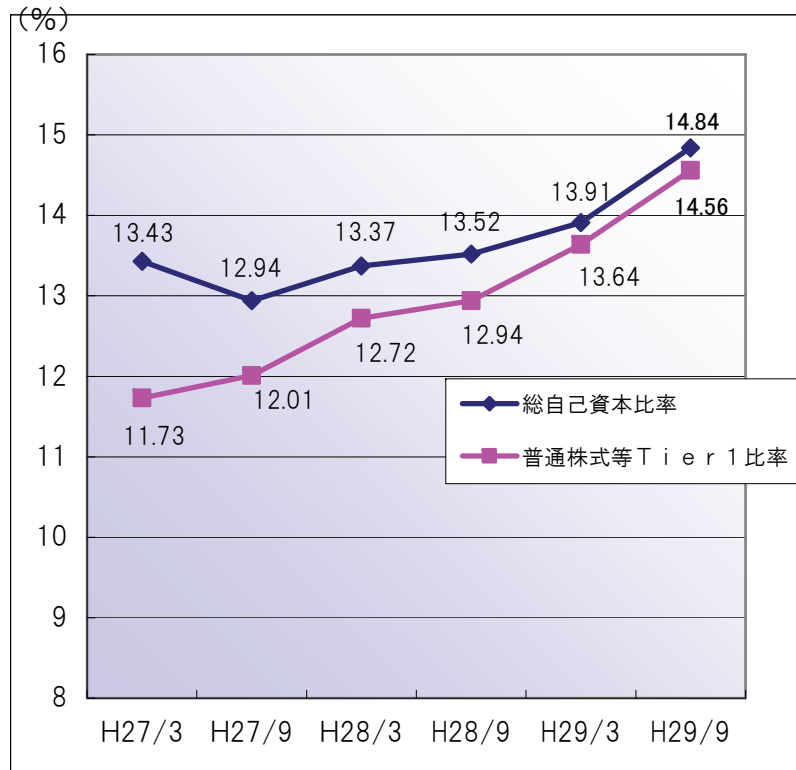


自己資本比率の推移

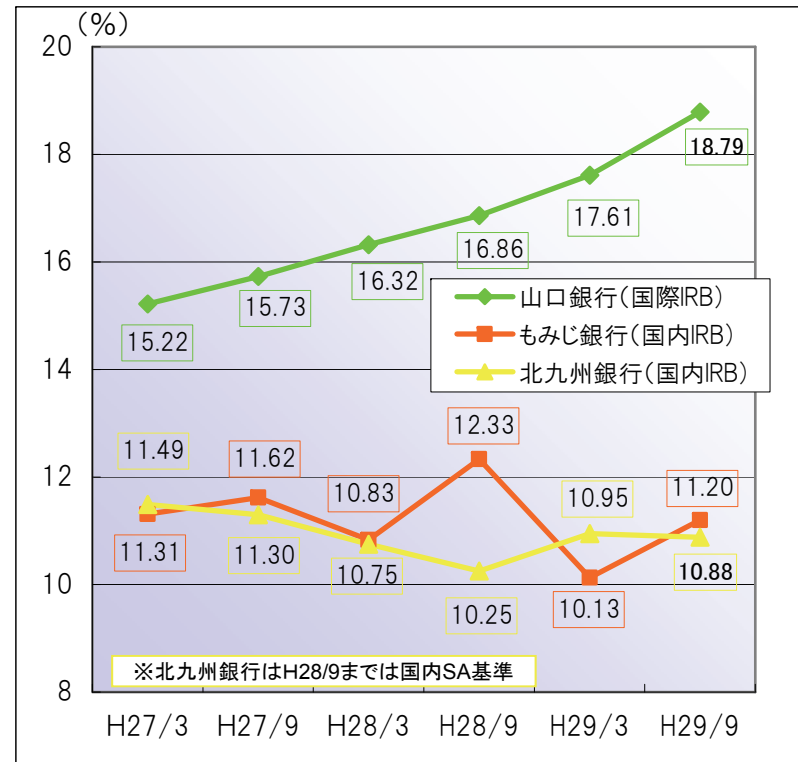
- ▶ 山口FGの連結総自己資本比率、平成29年9月末 14.84% (前年同期比+1.32%)。
- ▶ 山口銀行(単)18.79% (前年同期比+1.93%)、もみじ銀行(単)11.20% (前年同期比▲1.13%)、北九州銀行(単)10.88% (前年同期比+0.63%)。

自己資本規制強化の流れもあり、引き続き十分な資本水準の確保を行う。

山口フィナンシャルグループ連結



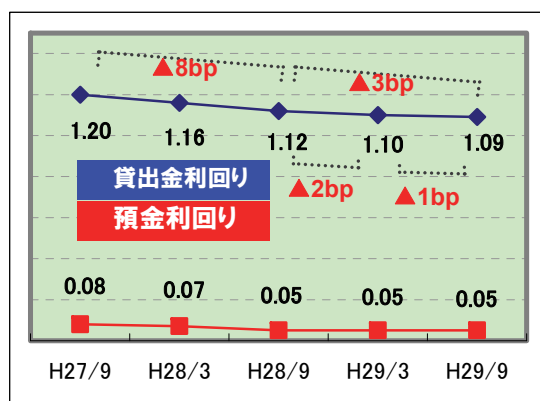
グループ3行の自己資本比率



預貸金利回りの状況

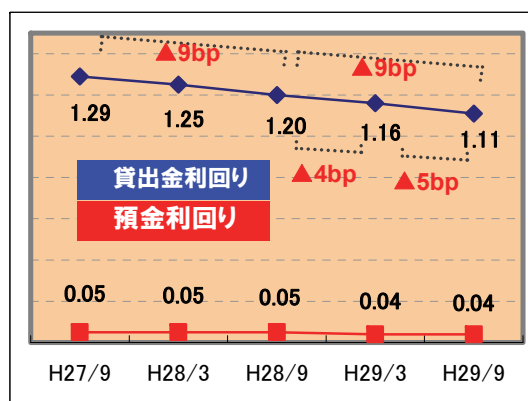
- ▶ 貸出金利回りはグループ3行にて前年同期比▲0.03～▲0.09%。
- ▶ 貸出金利息ベースでは山口銀行・北九州銀行が前年比プラスへ。

山口銀行



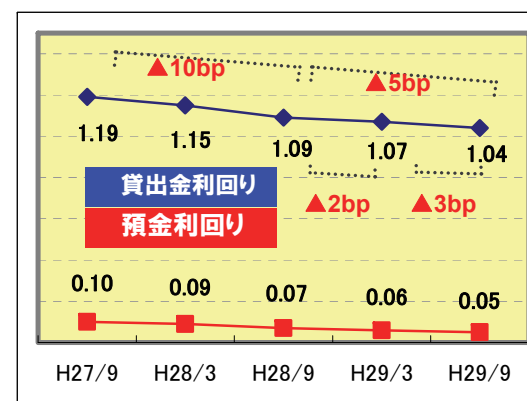
	(%)		
	H28/9	H29/9	前年比
貸出金利回	1.12	1.09	▲0.03
預金等利回	0.05	0.05	▲0.00

もみじ銀行



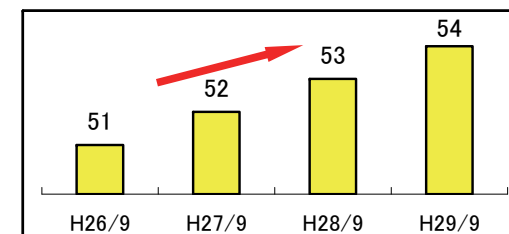
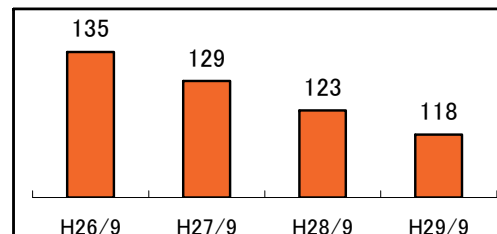
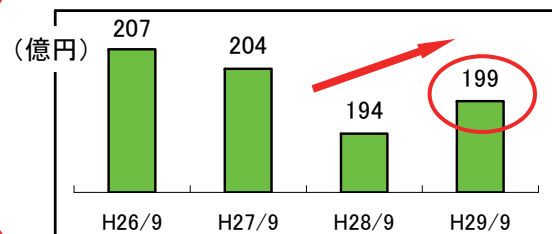
	(%)		
	H28/9	H29/9	前年比
貸出金利回	1.20	1.11	▲0.09
預金等利回	0.05	0.04	▲0.01

北九州銀行



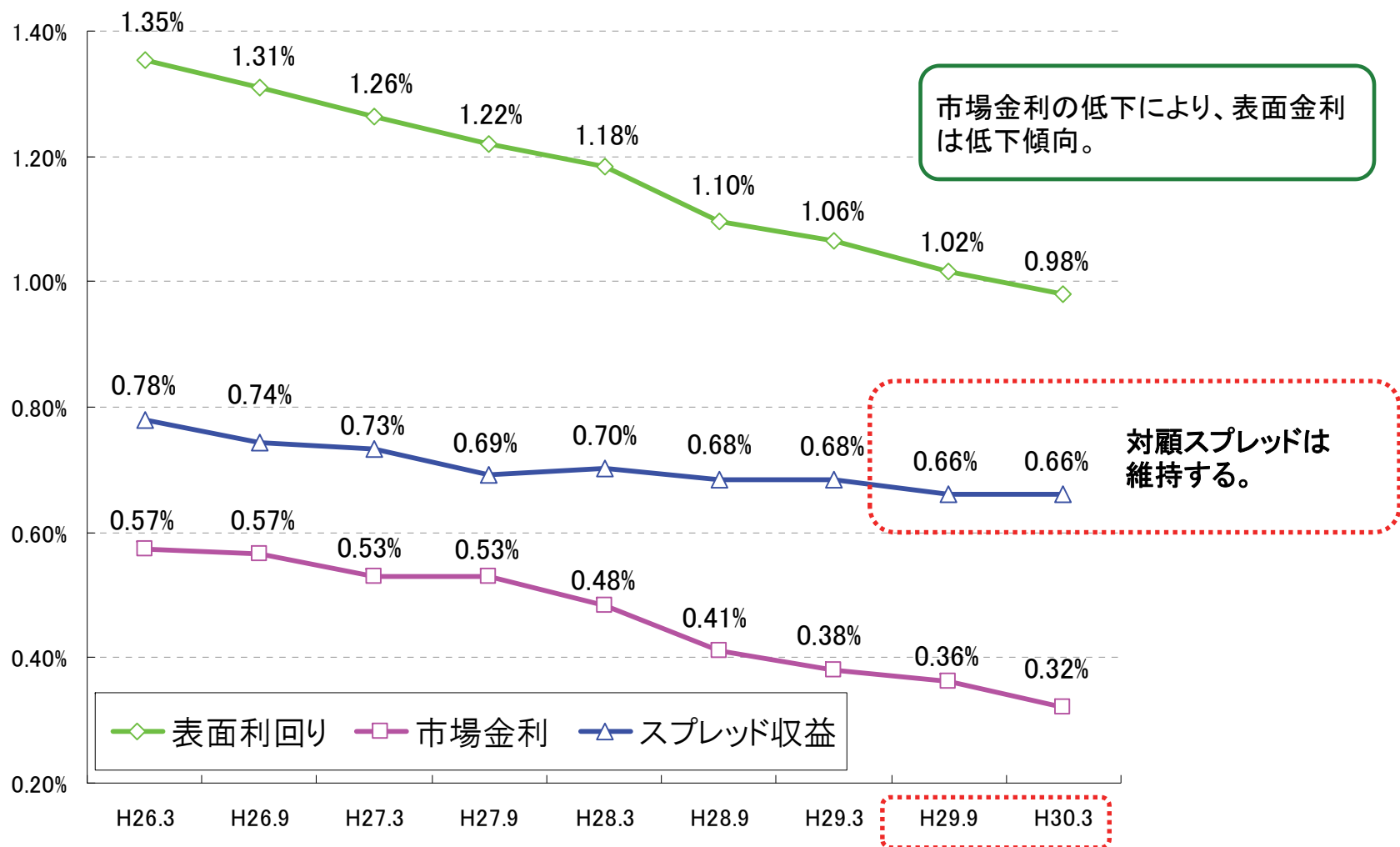
	(%)		
	H28/9	H29/9	前年比
貸出金利回	1.09	1.04	▲0.05
預金等利回	0.07	0.05	▲0.02

(ご参考: 貸出金利息額) 北九州銀行につづき山口銀行も貸出金利息額で前年比プラスに転じている。



(ご参考) 邦貨貸出金利回りの推移

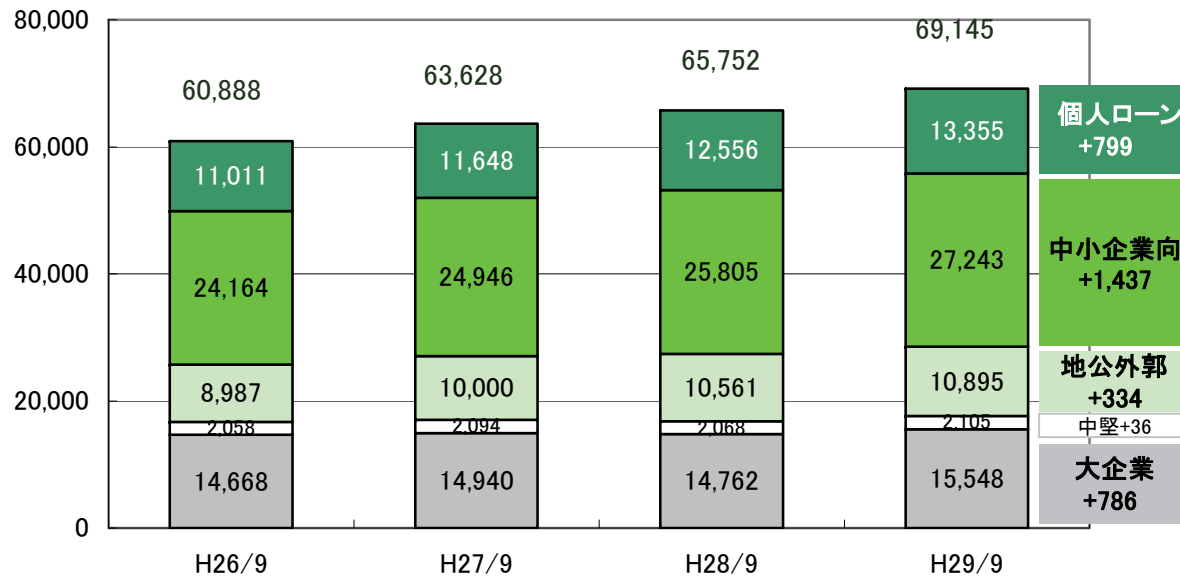
【邦貨貸出金利回り】



貸出金の内訳(3行合算)

- ▶ 貸出金(3行合算)については、中小企業等向け・個人ローン(特に住宅ローン)が着実に伸長。
- ▶ 引き続き、事業性評価やライフプランニングを実践するなかで増強していく。

貸出金末残内訳別推移 (国内店;単位:億円)



H29/9実績(個人ローン・中小企業向け)

【個人ローン】
 ◆H28/9比+799億円(年率6.4%)
 住宅ローン+795億円
 その他ローン+4億円

【中小企業等向け】
 ◆事業性評価の着実な実践により、
 H28/9比+1,437億円(年率+5.6%)

中小企業向けと個人ローンを中心に貸出金増強を図っていく。

【参考】各主要地域の貸出金年率(3行合算)

主要エリア	対前年伸び率※
山口県	2.2%
広島県	4.8%
北九州市	5.1%

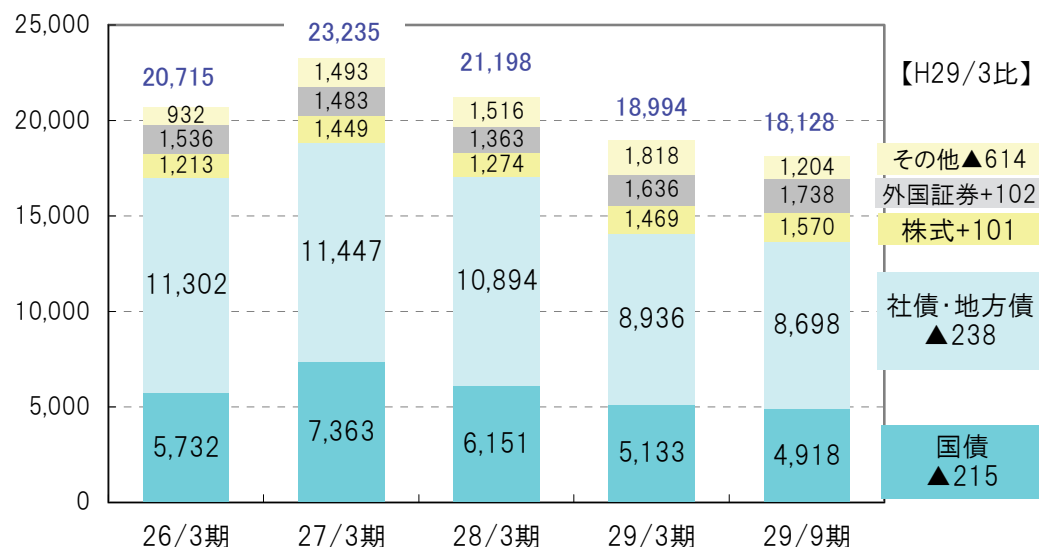
※H29/9期とH28/9期の比較

主要エリア別でみると山口県で約2%程度、広島県・北九州市は約5%の伸び率となっている。

有価証券ポートフォリオ

有価証券運用については、内外金利上昇への耐久性を高めるため、株式投信・外債ファンドの資産配分を上げたポートフォリオ運営を行っていく。

有価証券残高推移(億円)



【外国証券、その他(投資信託)】

・資産配分をやや増加させる運用を基本スタンスとする。

【国内債券(国債・地方債・社債)】

・国債はデフレーションをやや長期化させ、金利リスクをヘッジしながら収益確保していく。
 ・社債は約8割を政府保証債にて運用中(今後も同様方針)。

保有債券デュレーション(年)

	H27/9	H28/3	H28/9	H29/3	H29/9	H29/3比
山口銀行						
国内債	4.49	4.72	4.72	5.35	5.53	0.18
外国債	4.67	4.45	4.58	5.05	4.42	▲0.63
もみじ銀行						
国内債	3.81	4.15	5.00	5.75	5.74	▲0.01
外国債	2.22	2.94	3.77	4.05	5.49	1.44
北九州銀行						
国内債	9.46	8.19	7.81	7.30	7.05	▲0.25
外国債	-	-	-	-	-	-

有価証券評価損益(平成29年9月期:億円)

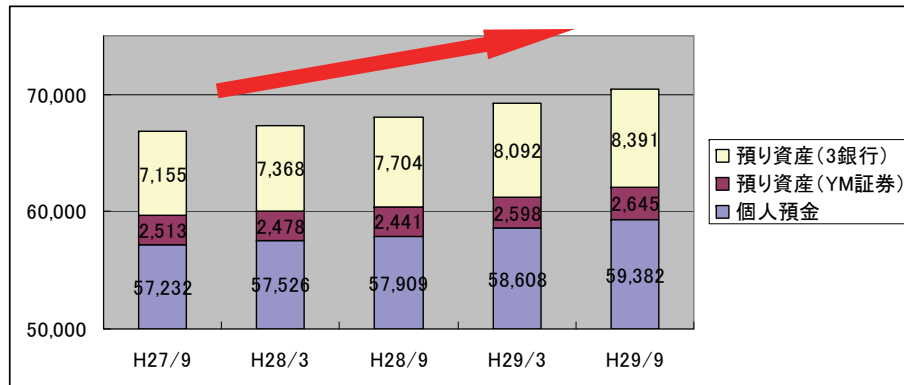
	山口	もみじ	北九州	FG連結	H29/3比
株式	669	46	201	916	104
債券	61	13	5	80	▲19
その他	▲41	▲38	-	▲79	37
合計	689	22	207	917	122

役務収益の状況

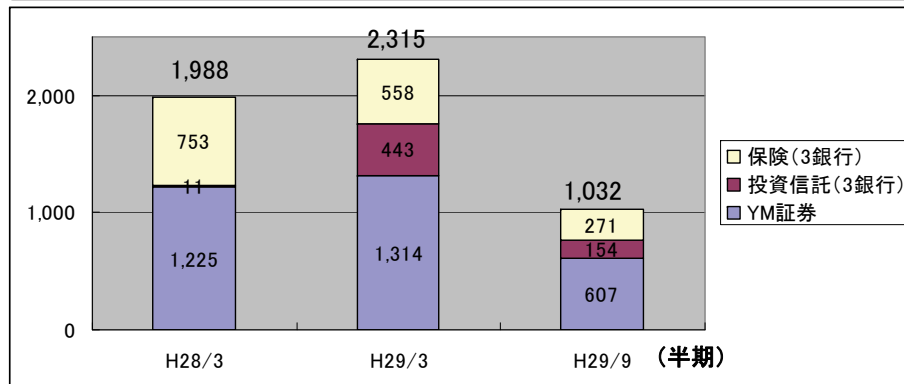
個人預り資産残高積み上げにより、グループ3銀行の預り資産手数料(証券仲介+保険+投資信託)は約37億円(前年同期比+約7億円)と堅調に推移。

●個人預り資産残高推移(億円)

グループ全体の個人預金を含めた預り資産残高は堅調に増加。

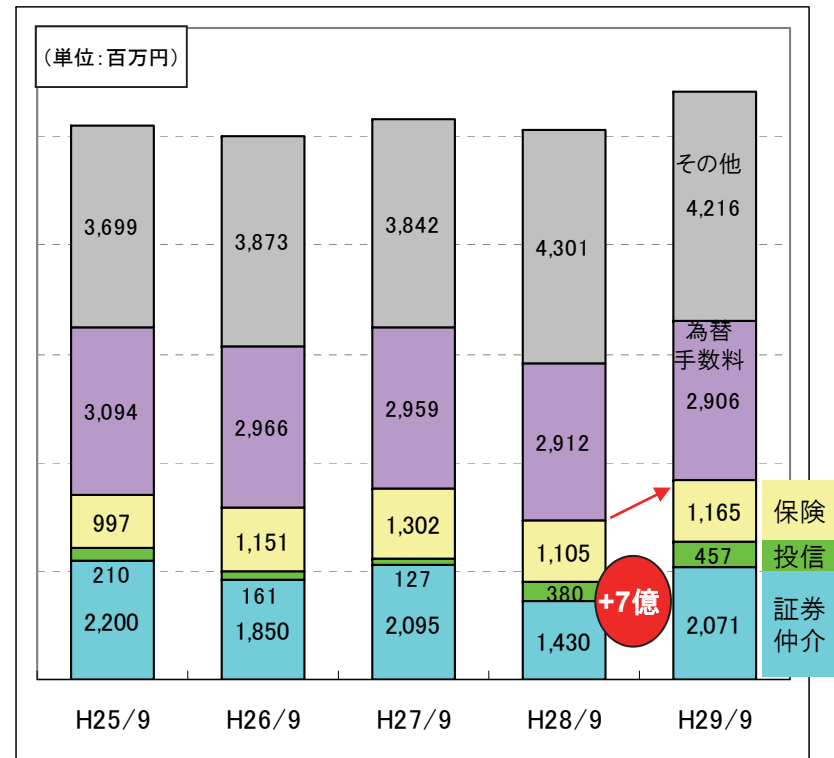


●個人預り資産販売額(億円)



●役務収益の推移(3銀行)

預り資産手数料(証券仲介+保険+投資信託)は約37億円(前年同期比+約7億円)となった。



平成29年度業績予想について

平成29年度決算見込み(グループ連結)

平成29年度通期決算については、経常利益で480億円(前年同期比+13億円)、当期純利益で325億円(前年同期比+10億円)を見込む。

	平成28年9月期 (実績)	平成29年9月期 (実績)	前年同期比	平成29年3月期 (通期:実績)	平成30年3月期 (計画)	前年同期比
コア業務粗利益	499億円	546億円	+47億円	1,040億円	1,070億円	+30億円
(うち預貸金収支)	(343億円)	(348億円)	(+5億円)	(688億円)	(692億円)	(+4億円)
(うち役務取引等利益)	(77億円)	(91億円)	(+14億円)	(170億円)	(195億円)	(+25億円)
経常利益	251億円	272億円	+21億円	467億円	480億円	+13億円
親会社に帰属する 当期純利益	169億円	187億円	+18億円	315億円	325億円	+10億円
1株当たり配当	10円	10円	±0円	18円	20円	+2円
貸出金平残(3行合算)	64,587億円	68,003億円	+3,416億円	65,599億円	69,092億円	+3,493億円
貸出金利回り	1.14%	1.09%	▲0.05%	1.13%	1.08%	▲0.05%
(ご参考)						
3M Tibor(平均)	0.07%	0.06%	▲0.01%	0.06%	0.06%	±0.00%
10年国債(平均)	▲0.13%	0.04%	+0.17%	▲0.05%	0.07%	+0.12%
日経平均株価(平均)	16,500円	19,700円	+3,200円	17,500円	21,000円	+3,500円

連結経常利益 増減要因(平成28年度通期⇒平成29年度通期)

【FG連結経常利益】

(単位:億円)

